

山口県獣医師会会報

Monthly Report of the Yamaguchi
Veterinary Medical Association

第 772 号 令和 7 年 9 月

目 次

○お知らせ 令和 7 年度市民公開講座（獣医公衆衛生講習会）の開催について	1
○第61回(2025年度)山口県獣医学会の開催について（常務理事）	1
○山口獣医学雑誌第52号への投稿について（常務理事）	3
○新入会員紹介	4
山口支部 金岡奈穂先生	
下関支部 高城良子先生	
○リレー随筆（県庁支部 大塚 仁先生）	5
○実感、FODMAP（熊毛支部 菅原淳也先生）	6
○ガジャ・マダ大学、アイルランガ大学を訪問して（1／2 報）（岩柳支部 三好雅和先生）	7
○お知らせ 令和 7 年度獣医学術中国地区学会について	9
○お願い 獣医師関連図書の寄贈について	10
○事務局だより	10
○「動物愛護キャンペーン」ポスター	11
○「動物の飼い方マナーアップ強化期間」ポスター	13
○「クレーム対応相談サービス」チラシ	14
○「市民公開講座（獣医公衆衛生講習会）」参加者募集チラシ	15

お知らせ

令和 7 年度市民公開講座（獣医公衆衛生講習会）のご案内

下記のとおり開催します。皆様の参加をお待ちしています。

- 日 時：令和 7 年 10 月 18 日（土）13 時 30 分～15 時 30 分
- 会 場：YMfg 維新セミナーパーク 研修棟 1 階 101 号室（山口市秋穂二島）
- 講 師：（公社）東京都獣医師会顧問 平 井 潤 子先生
- 演 題：「災害時のペット対策」
- 参加申込：10 月 2 日（木）までに、本会事務局に申し込んでください。
- 参 加 費：無 料

第61回(2025年度)山口県獣医学会の開催について

常務理事 酒 井 理

8 月 31 日（日）、YMfg 維新セミナーパークにおいて、山口県獣医学会が開催されました。

学会長の中村 滋会長から、学会運営への謝辞と平素からの本会の事業推進への協力についての感謝する開会挨拶の後、午前、産業動物分野 6 題、獣医公衆衛生分野 3 題、午後、小動物分野 21 題、計 30 題の発表があり、積極的な討論が交わされました。

発表者・共同研究者の皆様の平素からの研鑽に敬意を表します。

産業動物部門では、県や農業共済組合、山口大学関係者から、牛や馬の症例報告や X 線画像所見、サーモグラフィカメラの応用等について、**獣医公衆衛生部門**では、県や山口大学関係者から、感染症のメタゲノム解析やレジオネラ、子どもへの適正飼養講習会について、**小動物部門**では、山口大学や動物病院関係者から、犬や猫、フェレットについての症例報告、血圧測定や X 線撮影法、CT 検査、放射線治療等についての検討報告がありました。

県学会発表の様子（動画）は、後日、本会ホームページの「会員専用コーナー」に掲載しますので、業務の参考にしてください。

各分野の発表終了後に開催された学会運営小委員会において、10月11日(土)、12日(日)に岡山市で開催される令和7年度獣医学術中国地区学会で発表していただく演題が選考されました。

今回、YMfg維新セミナーパークを会場としましたが、県東部や県西部の会員も参加しやすく、大型スクリーンや高解像度のプロジェクター等の備品も整備されており、今後も、本会主催の学会や講習会等

の会場としたいと考えています。

学会の企画から当日の運営までご尽力いただいた学会運営委員の皆様、当日の運営・進行をお願いした座長と山口大学共同獣医学部の学生の皆様に感謝申し上げます。

第61回(2025年度)山口県獣医学会発表演題

区 分	会 員	学生等	計
産 業 動 物	5	1	6
小 動 物	11	10	21
獣医公衆衛生	3	0	3



挨拶される中村 滋会長理事



発表される宮本明奈先生（山口支部）



質問される富田耕作先生（山口支部）



発表される福江美智子先生（徳山支部）



座長の原口友也先生（防府支部）



会場の様子

山口獣医学雑誌第52号への投稿について

常務理事 酒 井 理

山口獣医学雑誌は、山口県獣医学会の機関誌として、獣医学と関連領域のすべての問題について、原著、総説、短報、記録及び資料等を掲載して、年1回発刊されています。

第52号に掲載する論文を募集しています。次の投稿規程に沿って日頃の研究の成果を取りまとめていただき、令和7年11月末までに本会事務局あて、メールで送信してください。

なお、本年5月29日に開催された山口獣医学雑誌編集委員会において、投稿規程が改正され、原稿の左欄外に行番号を記載することになりましたので、留意してください。

山口獣医学雑誌投稿規程

- 山口獣医学雑誌（以下、「雑誌」という。）に関する原稿の取り扱いは、この規程による。
- 原稿は、Microsoft Word等のコンピューターソフトを用いて作成し、原稿（図表等を含む）の電子ファイルを学会事務局へ電子メールの添付書類にて提出する。電子メールで送信できない場合は、プリントアウトした原稿2部（図表等を含む）とそれらのファイルを保存したCD-ROM等を学会事務局あて送付する。
- 原稿は、編集委員会において審査し、原稿の採否及び掲載の順位は、編集委員会が決定する。
ただし、編集委員会は、内容に応じて専門家に原稿の審査を依頼することができる。また、審査の過程で著者への修正を求め、再審査を行うことがある。
- 審査の結果、採用と認められた原稿は、雑誌の印刷発刊後においても、原則として著者へ返却しない。
- 審査の結果、不採用と認められた原稿は、原則として、受付3か月以内に返却する。
ただし、この場合、不採用の理由を明らかにする義務を負わない。
- 原稿は、原則として、刷り上がり6ページ（1ページ約2,400字）以内とする。制限ページ数を超過した分およびカラー写真については、著者実費負担とすることがある。
ただし、編集委員会の依頼による総説論文の原稿は、この限りではない。
- 原稿は、表紙、和文・英文抄録、キーワード、文献、図表の説明等に分けて書く。
 - 電子ファイルのフォーマット：A4版用紙に横書き、1行40字×30行（目安）、明朝体12ポイントで、フッター中央にページ番号及び左欄外に行番号を記載する。
 - 表紙：原稿の種類、論文表題、著者名、所属施設ならびにこれらの英訳の順に記載する。下段に連絡著者の連絡先（氏名、住所、電話・FAX番号、電子メールアドレス）を明記する。
 - 和文・英文抄録：抄録は和文、英文ともに刷り上がり1ページ以内とする。和文と英文の要約の後に、原著で5語以内、短報では3語以内のキーワードを記載する。
- 図表並びに写真は、まとめて原稿の最後につけ、論文中にそれらを置く位置を指定する。
- 引用文献は、本文に引用したものに限り、著者名、論文題名、雑誌名、巻（号）、始頁～終頁、西暦年を明記し、原則としてアルファベット順に配列し、番号をつけ、下記の様式で記載する。
例 雑 誌
和文： 5) 松本正弘・中村一夫：人および動物血液中の日本脳炎ウイルス中和抗体の分布と推移について。熱帯医学, 15 (6) : 272-285. 1975.
英文： 18) Lawrence J. E. and Clark, D. H.: The Lysis of Leptospirae by Antiserum. Amer. J. Trop. Med. Hyg., 24(2) : 250-260. 1975.
単行本
和文： 7) 山村雄一・石坂公成：免疫化学概論, 2版：15-18. 朝倉書店, 東京. 1973.
英文： 15) Smith, H. A., Jones, T. C. and Hunt, R. D.: Veterinary Pathology. 4th ed. Lea & Febiger Pub., Philadelphia. U.S.A. 1972.
- 外国人名、地名などは原語のまま記述し、数字は算用数字、度量衡はメートル法による。
- 印刷の校正は編集委員が行う。ただし、初校は著者も行うものとし、この場合、原則として、内容の訂正は認めない。
- 別刷は、100部まで無償で贈呈する。それ以上の部数については、著者実費負担とする。必要部数については、初校（著者校正）のとき、原稿の右上端に朱書するものとする。
- 掲載論文の著作権及び電子的形態による利用も含めた包括的な著作権は、公益社団法人山口県獣医師会に帰属する。
- この規程の改廃は、編集委員会において決定する。

附 則

- この規程は、平成24年12月13日から施行する。
- この規程は、平成31年3月19日から施行する。
- この規程は、令和4年5月12日から施行する。
- この規程は、令和7年5月29日から施行する。

新入会員紹介



はじめまして。この度山口県獣医師会に入会させていただきました金岡（かなおか）と申します。

山口県出身で、山口大学を卒業後、今年4月より山口県職員として農林総合技術センター畜産技術部に勤務しています。大学時代は獣医公衆衛生学研究室に所属し、*Lawsonia intracellularis*の新規培養法に関する研究を行っていました。現在は家畜改良研究室に配属され、牛の受精卵に関わる業務を担当しています。まだ慣れないことも多いですが、日々牛と向き合える恵まれた環境に感謝しながら、技術向上に励んでいます。

趣味は絵を描くことで、主にデジタルイラストを制作しています。スマホやタブレットに無料アプリ

山口支部 金岡 奈穂

（農林総合技術センター畜産技術部）

をダウンロードするだけで気軽に楽しめることに加え、アナログではなかなか思い通りにいかなかったことでも、デジタルでは多彩な機能を活かして幅広い表現ができる点に魅力を感じています。大学時代は趣味の絵に没頭してほとんど運動をしてこなかったのですが、現場での作業を通して体力の重要性を痛感しました。今後は体を動かす習慣を身につけ、仕事の基盤である体力面の強化にも努めていきたいと考えています。

至らない点も多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、本県の畜産の発展に貢献できるよう日々精進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

はじめまして



はじめまして。このたび山口県獣医師会に入会しました高城良子と申します。

今年5月に下関で「とと動物病院」を開院しました。少しずつ周知していただき、近所の方々を中心に来院していただいています。

出身は下関で北里大学を卒業しました。大学時代は初め1年間を神奈川で過ごし、2年目から青森へ移りました。山口とは全く違った気候や街の雰囲気、車が無いと不自由な生活に戸惑いホームシックになりましたが、1年経つと一人暮らしの自由な生活を謳歌していました。今思えば青森の自然や文化に触れることができ、とても貴重な時間を過ごせたと思っています。

趣味は旅行です。きっかけは学生時代に友人に誘われ参加したヨーロッパ周遊のツアー旅行です。学生向けで春休みの開催だったため3週間ほどかけて数か国を周りました。初めての海外だったので、この時の感動は今でも鮮明に覚えています。上空から見下ろす広大なユーラシア大陸、徐々に高度を下げ、厚い雲を抜けた途端現れた赤いレンガの建物が並ぶ

下関支部 高城 良子

（とと動物病院）

ロンドンの街並み、至る所に遺跡があり街全体が博物館のようなローマ、迷路のように入り込んだヴェネツィアの道の途中で偶然見つけた雑貨屋、パリで見かけたカップケーキをほおぼりながら歩くおしゃれで魅力的なマダム…。何もかもが初めての光景で刺激的でした。

大学卒業後は柳井、下関、北九州の動物病院で勤務しました。その間も時間を作っては海外や国内を旅するようになりました。

今は旅行への熱も落ち着き、趣味は筋トレに変わりました。運動不足を解消するため自宅で始めたのをきっかけに、体形が変わることが嬉しくなりジムに通うようになりました。飽き性で一つの事を成し遂げることが苦手ですが、数年続いているのは自分でも驚きです。病院を運営する上で体が資本ですから、これからも健康管理には気を配るつもりです。

開院した今、勤務医の時とはまた違った責任を感じるようになりました。病院も自分自身も成長していくよう日々精進していきたいと思っています。

皆様のご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

リレー随筆

県庁支部 大塚 仁
(山口県環境保健センター)

山口県環境保健センター所属の大塚です。減量した話とバイクを購入した話を書いてみます。

昨年度、歯痛で歯医者に行ったところ、親知らずを抜かないと治療が難しいと診断されました。紹介状を持ち、抜歯すべく大病院に行くと高血圧の人は循環器科で抜歯OKの診断がいたと言われました。さらに紹介状を持って、循環器科のある病院へ…。良い機会なので、血圧や各種内臓に関する数値について相談したところ、「このままだと死にますよ」と言われました。「死…」と思いつめたわけではなく、とにかく歯痛が我慢できないので、投薬と減量を了解しました。了解して2回ほどの受診で抜歯OKの診断が出たので、再度大病院を訪れ、抜歯の日取りを決めました。そして抜歯の前日の夜、痛い歯の周辺を触っていると、歯がぐらぐらしたので、つまんで、引っ張ったら、歯が抜けました。普通、歯は引っ張っただけでは抜けない…。これって大丈夫なのか？老化か？翌日、歯を握りしめて、大病院へ…。(私)「抜歯する予定の歯が抜けたんですが…。」(歯医者)「?…(確認後)…。腫れてもないし大丈夫ですよ。」で、一安心したのですが、抜けた理由は調べてもらえず、診察料はきっちり取られました。

虫歯治療という思わぬ理由で減量することになったわけですが、循環器科と約束したので、投薬と減量をがんばりました。肥満の罪に対して昼食抜き＋夕食の白飯とメイン料理抜きの刑に処すると、半年くらいでBMI値が29から24まで落ちて、ぎりぎり普通体重となりました。内臓関係の数値もある程度改善し、血圧も投薬で通常に抑え、死への歩みを少しばかり遅らせているところです。

ほどよい運動とほどよい食事制限で、体重を落とせると安全なのですが、体重が明確に落ち続けることはなく、上下しながら、じわじわと体重が落ちている…気がする…くらいで、実感がありません。頑張っているのに、実感なく長く続くので逆につらい…。そんな理由で食べないという方法(病院で指示されたわけではありません。)で一気に減量をしたのですが、危険な方法だそうです。そして、無理な減量のためリバウンドしやすく、元の生活に戻せません。飲み会とか年末年始とか家族旅行の時は、これ

ら全てで食事制限すると減量が嫌になるので、食事制限を解除して食べて、次の日から夕食を更に一品減らしたりして、報いを受けさせます。刑は続きます。終身刑です。

さて、悲しい話は置いて、バイク購入の話です。現在、終身刑の身なので、何か楽しいことを始めないと心が折れると思いました。また、土日祝日の日中は家にいると何か食べたくなります。外出するにしても、ガソリン代は高く、10年目を迎えた車の燃費も悪いです。そこでふと思いついたのが、バイクです。遠い記憶ですが、楽しかった気がしました。燃費の良さを前面に押し出して嫁を説得(お願い)して、購入しました。転倒が怖いので、エンジンガードを取り付けました。バイクの事故は胸を打って死ぬらしいので胸部のプロテクターを購入しましたが、肘と膝はスキーで使用していたプロテクターを代用しました。革のサイドバッグを付けたかったのですが高価だったので、子供の今は使っていない通学バッグを取り付けました。今のところ、通勤に使用しているだけで、やっぱり少し楽しい…。

最後に一言。スヌーピーのシールを貼ったヘルメットをかぶったおっさんが、山口防府間をだらだら走っていても車で煽ってはいけません。バイク用のドライブレコーダーが前後を録画していますので、通報させていただきます。

次は、最近、業務に関わるお願いごとをしてきた岩国健康福祉センター食肉検査課の上野佳子さんをお願いします。タイミングが良かったです。



実感、FODMAP

熊毛支部 菅 原 淳 也

(菅原獣医科医院)

初秋の気配が感じられる今日この頃、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

今回は、近年ヒトの消化器医療分野で注目されている「FODMAP」についてご紹介いたします。FODMAPとは、発酵性の糖質（Fermentable Oligosaccharides, Disaccharides, Monosaccharides, and Polyols）の総称で、小腸で吸収されにくく、大腸で発酵してガスを生じやすい食品成分を指します。代表的なものには、小麦などに含まれるフルクタン（果糖（フルクトース）の糖鎖）、乳製品の乳糖、果物の果糖、人工甘味料のソルビトールなどがあります。

これらの成分は、過敏性腸症候群（IBS）や機能的消化不良など、原因がはっきりしない消化器症状の一因となることが知られています。FODMAPを多く含む食品を減らす「低FODMAP食」は、複数の研究機関で有効性が報告され、海外では比較的信頼性の高いガイドラインにも取り入れられています（今のところ日本消化器病学会のIBSガイドラインには、用語の説明のみで積極的な活用については記載されていません）。

私自身、長年原因不明の腹部膨満感や軟便傾向を繰り返しており、日常生活や仕事に影響を感じつつもこれが普通なんだと思い込んでいました。しかし、小麦や乳製品といった高FODMAP食品を制限することで、症状の再発が明らかに減少しました。特に朝食のパンを米飯や低FODMAPの穀類製品に置き換えたことと、「〇〇ラテ」みたいな飲料を制限したことは、大きな改善につながったと実感しています。まあ、牛乳を飲んだらお腹を壊す人が多い、みたいな話を難しく言い換えただけでも思いますが、一覧表にはこれらの他にも意外な食材が含まれていた

りしてなかなか興味深く感じました（付表参照）。

動物医療分野では、FODMAPの概念はまだ一般的ではありません。しかし、ペットフードにも小麦や豆類など高FODMAP食材が含まれることがあり、特に慢性的な軟便傾向や消化器不調を訴える症例では、FODMAPの観点から食事内容の見直しが有効な場合もあると考えられます。SIBO（小腸内細菌異常増殖症）などと判断せざるを得ない比較的軽度の症例の場合、まず原材料表示を確認し、食事由来の要因を除外することは、ヒト・動物双方に共通して有意義なアプローチになるのかもしれません。

FODMAPは、まだ国内のガイドラインには広く採用されていないものの、科学的根拠に基づく食事療法として確実に注目度を増しています。日々の診療やご自身の健康管理の一助として、少しでもお役に立てれば幸いです。

※注：FODMAPは、「グルテンフリー」とか「4毒抜き」等の要注意ワードとは混同せず区別して検討するべきかと存じます。

	× FODMAPが多い食品	○ FODMAPが少ない食品
穀物	小麦、大麦、ライ麦、パン、パスタ、ラーメン、うどんなど	米、玄米、もち米、米粉類、そば（そば粉100%のもの）、グルテンフリーの食品、オートミール、キヌアなど
野菜・いも・豆類	玉ねぎ、にんにく、ごぼう、さのこ類、カリフラワー、アスパラガス、キムチ、さつまいも、豆類（大豆、いんげん豆、ひよこ豆、レンズ豆、あずき）、納豆、絹ごし豆腐など	なす、トマト、ブロッコリー（茎を除く）、ピーマン、にんじん、かぼちゃ、きゅうり、じゃがいも、オクラ、レタス、大根、キャベツ、木綿豆腐など
果物	りんご、すいか、メロン、桃、アブリコット、梨、グレープフルーツ、柿、マンゴー、いちじく、FODMAPの多い果物を含んだジャム、ドライフルーツ、缶詰の果物など	バナナ、いちご、ぶどう、レモン、ライム、キウイフルーツ、みかん、オレンジ、ラズベリー、ブルーベリー、クランベリー、ココナッツクリームなど
乳製品・乳製品を含む食品	牛乳、ヨーグルト、アイスクリーム、生クリーム、プロセスチーズ、クリームチーズ、ミルクチョコレート、カスタード、プリンなど	バター、カンパネラチーズ、チェダーチーズ、モッツァレラチーズなど
調味料など	トマトケチャップ、はちみつ、オリゴ糖、人工甘味料（ソルビトール、キシリトールなど）、コーンシロップ（果糖ブドウ糖液糖など）、バーベキューソース、カレーソース、バルサミコ酢など	マヨネーズ、オリーブオイル、メープルシロップ、しょうゆ、酢、トマトソース（玉ねぎやにんにくを含まないもの）、魚油、マスタード、オイスターソース、ビーナッツバター、味噌など
飲み物	FODMAPの多い果物を含んだジュース、オレンジジュース、ウーロン茶、チャイ、レモネード（加糖）、エナジードリンク、甘いワイン・スパークリングワインなど	水、緑茶、紅茶、コーヒー（ブラック1日1杯まで）、ココア、レモネード（無糖）、ビール、ジン、日本酒、ウイスキー、甘くないワイン・スパークリングワインなど

ガジャ・マダ大学、アイルランガ大学を訪問して（1／2報）

岩柳支部 三 好 雅 和

山口大学共同獣医学部寄生虫学研究室のご縁でインドネシア共和国の留学生や地方政府の行政担当者の方々と何度か接する機会がありました。同国では2022年2月にランピースキン病が、同年4月には口蹄疫が発生していますが、そのような中で山口大学がガジャ・マダ大学ほか現地の方々と家畜の生産性向上に取り組まれていることを伺いました。本年7月、同研究室の佐藤 宏教授並びに元留学生であるイムロン博士（現ガジャ・マダ大学獣医学部准教授）の御協力を得てジョグジャカルタ特別州にあるガジャ・マダ大学獣医学部、グヌンキドル県の動物衛生関係の行政機関及び農場を視察しました。また、あわせて佐藤先生の知己を得てスラバヤ市にあるアイルランガ大学獣医学部を訪問しました。

私は全くインドネシア語ができないため、木材関係の仕事で日本とインドネシアを長年往来している私の兄の業務に帯同してジャワ島へ赴き、ジョグジャカルタ特別州ではイムロン博士及び教え子のポスドク2名（若い女性）と行動を共にしました。なお、事前の佐藤先生のお話で「グヌンキドル県獣医診療課長であるレトノ獣医師（女性）の弟さんはガジャ・マダ大学森林学部の教授をされている。」とのことであり、初日に同大学森林学部を訪問しました。教授のお姉さんが獣医師であること、私の兄が木材関係の業務を行っていることから、大変な歓待を受けました。教授は東京農工大や森林総合研究所にも縁が深く、助手（若い女性）も名古屋大学に留学していたことなど日本との縁の深さを感じました。

その後、大学から南東に約40km離れたグヌンキドル県へ移動しましたが、街から山に入ると稲を刈り取った田がいたるところで見えました。このあたりは3期作であり、ちょうど1期作が終わった時期でした。現地に到着後、Gununkidul Regency Animal Service Office（グヌンキドル県動物サービス事務所）を訪れてWibawanti部長に御挨拶を申し上げた後にPusat Kesehatan Hewan Wonosari（ウォノサリ動物保健センター）へ移動して現地の情報をい

ろいろ教えていただきました。なお、グヌンキドル県動物サービス事務所のロビーには写真1のような「炭疽菌の注意喚起」のポスターがありました。以前、佐藤先生から現地では「衰弱した牛は地域で食べる習慣があり、それで人の炭疽が問題となったことがある。」とのお話がありましたが、その啓蒙ポスターでした。日本での炭疽の発生は、2000年の宮崎県での牛の事例を最後に過去の疾病となっていますが、世界的にはいまだ発生しています。また、古い記録ですが、日本でも昭和40年8月に某県で「斃死牛の肉を食べたことによる集団発生」があったことが報告されていました。



（写真1）グヌンキドル県動物サービス事務所ロビーのポスター、「警告 炭疽!」。右はイムロン博士。

ウォノサリ動物保健センターでは、地域を統括するエカ先生から現地の状況を教えていただきました。肉用牛は約9,000頭飼養されていること、プラナカン・オンゴレ種が8割を占めており他にシムメンタール、リモジン、ブラーマン種や交雑種が飼養されている、とのことでした。事務所内には人工授精関係のセクションも併設されていました。牛の繁殖

状況について伺うと「授精回数は平均1.5回、分娩間隔は1.5～2年であり、子牛は6カ月齢で離乳」と話してくれました。なお、当地域ではアカバネ病のようなアルボウイルス感染症による奇形や異常産の流行を尋ねましたが、先生は「それは何ですか？流行性の異常産の経験はないな・・・」とのお話でした。

また、同国では2022年4月に口蹄疫が発生しており6月からワクチン接種に取り組まれています。当地域でも中央政府の管理下でワクチンを年2回無料で実施しているとのことでした（O型、アフトゲン・オレオ）。なお、同国では発生しても殺処分、移動制限は行わない、とのことでした。日本では法定伝染病として殺処分や移動制限を行うこと、農家に手当金が支給されることを話すと「・・・お金がありますね・・・」という感じの返答でした。またランピースキン病も発生しており、対策として年1回ワクチンを接種していました。このあたりのワクチン接種パターンは、昨年タイで教えてもらった方法と同様でした（口蹄疫ワクチンの種類、血清型は異なりますが）。



（写真2）ウオノサリ動物保健センターにて
左から1人おいて、イムロン博士、私、エカ先生、ウィバワンティ部長、Rosy女史（ポスドク）。

その後、近隣にある「畜産共同農場 MARGO MULYO」を視察しました（写真3）。当牧場ではプラナカン・オンゴレ牛26頭（雌24頭、種雄牛2頭）が飼養されており、主に自然交配が行われていましたが、シムメンタール精液を使用した交雑牛の子牛もいました。口蹄疫のワクチンは年2回実施

されており、実施した牛の記録は耳標で確認できるようになっているとのことでした（写真4）。生産された子牛は6カ月齢前後で販売されており、価格は1,200万IDR（約11万円）とのことでした。成牛1日当たりの給与飼料はコロンジョノグラス（チガヤに似ていますが、もっと長大で粗剛）の生草が主体で30～40kg、濃厚飼料としてフスマが2kg前後でした。黒毛和種を見慣れた私からは同じ牛と言っても「全く別の生物」に見えました。当農場では口蹄疫は発生していませんが、過去にランピースキン病を発症した牛が1頭おり、胸や背部に丘疹が残っていましたが、牛以外には山羊が12頭飼養されていましたが、これは山羊乳の生産のためではなく「犠牲祭用のため」に飼養している、とのお話でした。当牧場では学生さんなどの実習を受け入れており、当日もガジャ・マダ大学の農学部や森林学部の学生さんが元気に働いていました（写真5）。



（写真3）畜産共同農場「MARGO MULYO」。左は農場長（70歳）。



（写真4）プラナカン・オンゴレ牛の繁殖牛。左の耳標（黄色）が口蹄疫ワクチンの記録用、右の耳標（青色）は農場専用の耳標。



(写真5) 実習している学生さん、農場職員の皆さんとの記念撮影。後列左から4人目：イムロン博士、5人目：農場長、6人目：ウィバワンティ部長、1人おいて筆者。

なお、口蹄疫など感染症に対するバイオセキュリティについては、日本の飼養衛生管理基準からすれば全く別世界の感でした。現在維持できる衛生環境の下で当面は「ワクチン接種清浄国」を目指しているのかな、という感じを受けました。バイオセキュリティの徹底、摘発淘汰による清浄化が理想であることは言うまでもありませんが、先年訪れた東南アジアの他国の状況も同様であり、生産現場の環境、牛の流通などの諸事情を考慮すると地域によってはこのような方法が現実的なのかな、という印象を受けました。

お知らせ

令和7年度獣医学術中国地区学会について

次のとおり開催されます。参加を希望される方は、9月22日(月)までに本会事務局に連絡して下さるようお願いいたします。正会員の参加費(2千円)は、本会が負担しますが、交通費及び歓迎交流会参加費は自己負担となります。

なお、発表者及び被表彰者には、別途お知らせします。

○期 日：令和7年10月11日(土)～10月12日(日)

○会 場：岡山コンベンションセンター(岡山市北区駅元町)

○プログラム

①市民公開講座

日 時：令和7年10月11日(土)15:00～16:40

演 題：「岡山市における動物愛護の取組み～殺処分ゼロ～」(仮題)

講 師：岡山市保健衛生課 課長代理 丸山 稔 先生 他

②表彰式

日 時：令和7年10月11日(土)17:00～17:30

③歓迎交流会

日 時：令和7年10月11日(土)18:00～20:00

会 場：ANAクラウンプラザホテル 19階 宙

④獣医学術中国地区学会

ア 日本産業動物獣医学会(中国地区)

第1日目：令和7年10月11日(土) 12:30～14:40

第2日目：令和7年10月12日(日) 9:00～15:00

イ 日本小動物獣医学会(中国地区)

令和7年10月12日(日) 8:50～15:40

ウ 日本獣医公衆衛生学会(中国地区)

第1日目：令和7年10月11日(土) 12:30～14:40

第2日目：令和7年10月12日(日) 9:00～11:40

○参加費

区 分	学 会	歓迎交流会
本 会 会 員	2,000 円	5,000 円
学生・動物看護職	2,000 円	4,000 円
そ の 他	5,000 円	6,000 円

お願い

獣医師関連図書の寄贈について

県獣医師会館2階の図書コーナーには、獣医学や医学、畜産学、獣医公衆衛等、獣医師関連の雑誌や図書を所蔵し、会員の皆様に閲覧していただいています。

図書コーナーを充実するため、会員の皆様に、獣医師関連図書の寄贈をお願いしています。希望される方は、本会事務局に連絡してくださるようお願いいたします。（図書寄贈申込書は、本会ホームページ各種様式コーナーに掲載しています。）

なお、寄贈いただいた図書の取扱いについては、本会に一任していただきます。

お知らせ

今後の主な行事(予定)

- 9月5日 ・県庁支部研修会（セントコア山口）
- 9月25日 ・第58回動物供養祭（周南市徳山動物園）
- 9月25日 ・災害時動物救護対策委員会（県獣会館）
- 10月1日 ・令和7年度動物供養祭（山口大学）
- 10月11～12日 ・獣医学術中国地区学会（岡山市）
- 10月18日 ・市民公開講座（獣医公衆衛生講習会）（YMfg維新セミナーパーク）

事務局だより

- 8月5日 ・第80回下関市畜産共進会（下関市旧滝部家畜市場）
- 8月20日 ・第29回阿武萩和牛共進会（萩市むつみ肉用牛集出荷施設）
- 8月21日 ・山口市畜産共進会（山口市中央家畜市場）
- 8月26日 ・第28回長門大津畜産共進会（長門市油谷旧人丸家畜市場）
- 8月26日 ・会報編集委員会（県獣会館）
- 8月27日 ・第78回美祢畜産共進会（美祢市美東家畜管理所）
- 8月29日 ・家畜人工受精師会講習会（山口県庁）
- 8月31日 ・山口県獣医学会（YMfg維新セミナーパーク）
- 7日 21日 事業推進会議

次回編集委員会 9月18日(木) 13:30～

山口県獣医師会会報 第772号 令和7年9月10日（毎月1回発行）

発行所 (公社)山口県獣医師会(〒754-0002 山口県山口市小郡下郷1080-3)
 電話 (083) 972-1174 FAX (083) 972-1554
 e-mail:yama-vet@abeam.ocn.ne.jp
 http://www.yamaguchi-vet.or.jp

編集責任者 豊川 剛
 発行責任者 中村 滋
 印刷 コロニー印刷

人と動物がなかよく、快適に暮らしていくために

入場無料

動物愛護 キャンペーン



令和7年

日時

9/22月~26金

会場

山口県
動物愛護センター

9:00~17:00 (23日は15:00終了)

山口市陶10943-12※裏面に地図あり

9/23(火・祝) 限定イベント開催♪

かき氷
販売あり
(売り切れ
次第終了)



まもるちゃん



あいちゃん

9:30~10:30

散歩のお悩み
解決レッスン

要申込

引っ張られる、動かないなど散歩でお悩みの飼い主さん必見!ワンちゃんの個性に合わせて、プロの訓練士さんが分かりやすくアドバイスします
※詳しくはチラシ裏面をご覧ください

10:30~12:00

愛犬のしつけ方講座・
個別相談会

愛犬の「困った」を解決!参加者の方からの個別相談も受け付けます
左記「散歩のお悩み解決レッスン」に参加の方優先
当日参加OK

13:00~14:30

要申込

動物愛護センターの
獣医さん体験

あこがれの獣医さんになっちゃおう!
※詳しくはチラシ裏面をご覧ください

9:00~14:30

こどもの広場

シャボン玉や竹とんぼ、わなげゲームで遊ぼう!

11:30~11:50、14:30~14:50

まもるちゃん、あいちゃんと写真を撮ろう

動物愛護センターのマスコットキャラクター「まもるちゃん」と「あいちゃん」が会場内に登場して、記念撮影をします!



期間中開催イベント♪

譲渡犬・猫 写真展

~幸せに暮らしています~

動物愛護センターから譲渡された犬・猫の1年後の姿を飼い主さんからのメッセージを添えてご紹介します

犬猫のミルク
ボランティア体験会

①9:30~10:30②13:30~14:30

(※9/23(火・祝)は①のみ)

※各回5組程度

当日受付、参加希望者多数の場合は、抽選により決定します



手作り体験コーナー

●猫のおもちゃ ●迷子札 など

モデル犬お散歩体験

犬のお散歩を体験してみよう

※9/23(火・祝)は行いません

※詳しくはチラシ裏面をご覧ください

要申込



●事前に申し込みされた犬以外の動物は、持ち込み禁止です。●雨天等の場合は、内容の一部を変更する場合があります。

お問合せ先

山口県動物愛護センター

☎083(973)8315

開館時間 9:00~17:00 (但し、土・日曜日・祝日及び年末年始を除く)

山口市陶10943-12

山口県動物愛護センター |

検索

主催/山口県 後援/(公社)山口県獣医師会

猫はおうちの中で飼いましょう



おうちの中だけでいいの？

おうちの中
だけがいいよ！

●猫を屋外に出すのは大変危険です

感染症 ・ 交通事故 ・ 迷子
猫同士のケンカ ・ 予期せぬ繁殖 など

【猫の感染症】

- ・屋外では、野良猫などとの接触により、**猫エイズ**や**猫白血病**などの命に関わる病気に感染するリスクが高まります
- ・近年、マダニが媒介する**SFTS**(重症熱性血小板減少症候群)という致死率の高い感染症の発生が、山口県内でも報告されています

●快適な環境を整え、屋内飼育を徹底しましょう

立体的な運動ができる場所 ・ かくれ場所
外が見える場所 ・ 清潔なトイレ ・ 爪とぎ など

毎年9月、10月は
「動物の飼い方マナーアップ強化期間」です。

地方獣医師会の
会員獣医師の皆さまへ

クレーム行為にお悩みの獣医師の皆さまには
強い味方がついてます!

獣医師賠償責任保険に**自動付帯**

クレーム対応相談サービス をご活用ください!!

もし

**クレーム行為※により
診療が阻害されたら...**

※クレーム行為とは、記名被保険者が日本国内で行った業務に対して、他人が被保険者(保険の補償を受けられる方)に暴行、脅迫、威力、セクシャルハラスメント、不退去、偽計、風説の流布を行うことをいいます。

もし

SNS (GoogleクチコミやX)に獣医師や動物病院の名誉を毀損するような悪質な書き込みをされたら...

もし

リスクを十分に説明して行った手術で、ミスはなかったのに、「勝手な処置をされた」「すべき治療をしなかった」とクレームを受けたら...



こういう場合に、お気軽にご相談することができます!!
多くの会員獣医師の皆さまにご利用いただいています。

専門相談窓口への無料相談サービス

[受付時間]

平日の午前10時～午後6時

クレームコンシェルとは、クレーム行為に関するご相談窓口です。

クレームコンシェルサポートメンバーがクレームに関するご相談に対し、応対方法など解決に向けた各種アドバイスを実施し、クレームの速やかな解決を支援します。

※ご利用は本保険の被保険者のみとなります。

クレーム対応
無料相談サービス
の使い方

加入者証に記載の相談ダイヤルへお電話ください!!
(受付時間：平日午前10時～午後6時)

保険契約者 **公益社団法人 日本獣医師会**

このご案内は概要です。詳しい内容につきましてはパンフレットをご請求いただき、取扱代理店または損保ジャパン営業店までお問い合わせください。

問い合わせ先

幹事代理店 **株式会社安田システムサービス**

〒163-1529 東京都新宿区西新宿1-6-1
新宿エルタワー29F
TEL:03(3340)6497 FAX:03(3340)5700
受付時間 9:00～17:30(土・日・祝休)

引受保険会社 **損害保険ジャパン株式会社**

団体・公務開発部第二課
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
TEL:03-3349-5402 FAX:03-6388-0161
受付時間 9:00～17:00(土・日・祝休)

日本獣医師会福祉共済事業各保険の資料は下記幹事代理店までご請求ください。
なお、携帯電話からもご請求いただけます。こちらからアクセスしてください。



SJ24-10918(2024/11/27)

令和7年度 市民公開講座

参加費無料

主催：公益社団法人山口県獣医師会

演題

災害時のペット対策

この講演では、被災地の動物達と、飼い主の様子を写真で紹介しながら、ペット同行避難の課題や、被災地・避難所で生じたアクシデント、また好事例など、これからの備えに役立つ情報をご紹介します。



2011年 東日本大震災 宮城県内避難所

講師

ひらい じゅんこ
平井潤子先生

- ・(公社)東京都獣医師会 顧問
- ・(公社)日本獣医師会 危機管理室 統括補佐
- ・人と動物の防災を考える市民ネットワーク
NPO法人 ANICE 理事長

日時

令和7年10月18日(土) 13時30分～15時30分

会場

YMfg維新セミナーパーク 研修棟1階101号
(山口市秋穂二島)

定員

60名程度 ※お申し込みが定員を超える場合は、抽選とさせていただきます

参加費

無料

申込方法

令和7年10月2日(木)までに、メール又はFAXに
次の事項を記入してお申し込みください。

- ①氏名
- ②住所(又は勤務先)
- ③郵便番号
- ④電話番号(日中つながる番号)
- ⑤メールアドレス

申込み・問い合わせ先

公益社団法人山口県獣医師会

〒754-0002 山口市小郡下郷1080-3

電話：083-972-1174 (平日9～17時)

FAX：083-972-1554

ホームページ：<http://www.yamaguchi-vet.or.jp/>

メールアドレス：yama-vet@abeam.ocn.ne.jp

